

11月9日 (土)

9:00～9:30

大会長講演

A会場 (B会場にて中継あり)

座長：河田 興 (摂南大学薬学部 臨床薬理学研究室)

小児医療のためにできること

山谷 明正 (明治薬科大学 薬学教育研究センター 臨床薬学部門 小児周産期薬学)

9:40～10:40

教育講演 1

A会場 (B会場にて中継あり)

座長：山谷 明正 (明治薬科大学 薬学教育研究センター 臨床薬学部門 小児周産期薬学)

臨床薬理と薬学教育

越前 宏俊 (明治薬科大学)

10:50～12:10

プレナリーセッション

A会場 (B会場にて中継あり)

座長：庄司 健介 (国立研究開発法人 国立成育医療研究センター 小児内科系専門診療部
感染症科)

石川 洋一 (明治薬科大学)

PS-1 4種混合ワクチン及びHibワクチンから5種混合ワクチンへの切り替えに関する互換性研究

田中 敏博 (静岡厚生病院 小児科)

PS-2 神経発達症に伴う睡眠障害に対するメラトニン (メラトベル[®]) の有効性と安全性の検討

村社 計寿 (草加市立病院 薬剤部)

PS-3 有害事象自発報告データベースを用いたチオプリン製剤と低血糖に関する検討

奥村 俊一 (地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立小児総合医療センター 薬剤科)

PS-4 新生児薬物治療における適応外使用の実態調査～2013年と2023年の比較～

岩下 智子 (帝京大学医学部附属病院 薬剤部)

PS-5 先天性心疾患術後ならびに胎児水腫における乳び胸水に対する薬物治療の有効性についての後方視的検討

由留部 圭伍 (福岡市立こども病院 薬剤部)

12:40～13:30 ランチョンセミナー1

A会場

共催：株式会社龍角散

座長：富家 俊弥（社会福祉法人聖ヨハネ会 桜町病院）

子どもの服薬の現状と服薬支援

原田 香奈（東邦大学医療センター大森病院）

12:40～13:30 ランチョンセミナー2

B会場

共催：日本調剤株式会社

座長：石川 洋一（明治薬科大学）

小児在宅医療から見える小児における 薬局や薬剤師の地域連携の姿とは

中村 知夫（国立研究開発法人 国立成育医療研究センター）

13:50～14:30 総会

A会場（B会場にて中継あり）

14:30～14:50 大西記念学会賞記念講演

A会場（B会場にて中継あり）

新生児・乳児に対するカルシウム・リン製剤の 同時投与時における吸収量低下リスクの検討

櫻井 愛（東京大学医学部附属病院 薬剤部）

15:00～16:30 シンポジウム1

A会場

座長：齊藤 順平（国立研究開発法人 国立成育医療研究センター 薬剤部）

肥田 典子（昭和大学大学院 薬学研究科 臨床研究開発学分野）

臨床現場に適した小児製剤開発の道標 ～適切な小児用製剤を現場に届ける～

SY1-1 プラジカンテル小児製剤開発の道のり～コンソーシアムパートナーとともに～

小島 宏行（アステラス製薬株式会社 CMCディベロップメント 製剤研究所）

SY1-2 ジェネリック医薬品における小児製剤開発の留意点

～酢酸亜鉛製剤の開発を事例として～

野沢 健児（沢井製薬株式会社 研究開発本部 製剤研究部）

SY1-3 臨床現場に適した小児製剤開発の道標～最適な小児用製剤を現場に届ける～

肥田 典子（昭和大学大学院 薬学研究科 臨床研究開発学分野）

SY1-4 病院薬剤師の病棟薬剤業務を通じた小児用製剤の開発

～セレン欠乏患児に対する院内製剤「セレン速崩錠」を例に～

門田 亜紀（高知大学医学部附属病院 薬剤部）

15:00～16:00 一般口演1

B会場

座長：廣井 順子（地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立小児総合医療センター）

O-1 カニューレ抜去を目指して～患児家族へのサポート～

信安 恵見（株式会社大和調剤センター ぞうしき薬局）

O-2 症候性先天性サイトメガロウイルス感染症治療への薬剤師の支援

東 さやか（日本医科大学武蔵小杉病院 薬剤部）

O-3 咳に対するセルフメディケーションを薬剤師はどの程度指導しているか：横断研究

桜田 尚季（株式会社なの花北海道 なの花薬局美しが丘店）

O-4 ゼリー剤による苦味マスキング効果の小児による評価

三田村 しのぶ（摂南大学 薬学部 医療薬学研究室）

O-5 酢酸亜鉛水和物服用中の小児患者における低銅血症のリスク因子に関する検討

村上 百花（国立研究開発法人 国立成育医療研究センター 薬剤部）

16:40～18:10 シンポジウム2

A会場（B会場にて中継あり）

座長：田野島 玲大（横浜市立大学 大学院 データサイエンス研究科 ヘルスデータサイエンス専攻）

丹沢 彩乃（国立研究開発法人 国立成育医療研究センター 薬剤部）

**臨床現場の疑問からエビデンスの創出へ
～小児臨床薬理研究のstarting point～**

SY2-1 臨床の疑問を研究へと繋げるために

田野島 玲大（横浜市立大学 大学院 データサイエンス研究科 ヘルスデータサイエンス専攻
／横浜市立大学附属病院 次世代臨床研究センター）

SY2-2 病棟業務で関わった院内プロトコル変更から着想した臨床研究

大橋 知佳（杏林大学医学部附属病院 薬剤部）

SY2-3 薬剤師による小児がん領域におけるエビデンスの創出

歌野 智之（国立研究開発法人 国立成育医療研究センター 薬剤部）

SY2-4 DPCデータを用いた臨床研究～着想から論文化まで～

北岡 寛己（東京大学大学院 医学系研究科 生殖・発達・加齢医学専攻）

18:10～18:20 プレナリー表彰式

A会場（B会場にて中継あり）

11月10日（日）

9:00～10:30

シンポジウム3

A会場

座長：目澤 秀俊（国立研究開発法人 国立成育医療研究センター エコチル調査研究部）

森崎 菜穂（国立研究開発法人 国立成育医療研究センター 社会医学研究部）

本邦の出生コホートの位置づけを知り活用する

SY3-1 リアルワールドデータを活用した出生コホート研究

大久保 祐輔（国立研究開発法人 国立成育医療研究センター 臨床疫学・ヘルスサービス研究室）

SY3-2 子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）の概要と成果

目澤 秀俊（国立研究開発法人 国立成育医療研究センター エコチル調査研究部）

SY3-3 本邦の主な出生コホート研究の概要と成果

小原 拓（東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 予防医学・疫学研究部）

9:30～10:30

一般口演2

B会場

座長：中井 啓（宮城県立こども病院 薬剤部）

O-6 小児患者におけるレボセチリジン塩酸塩DS.0.5%®の嗜好品によるマスキング効果探索試験

十川 友那（三豊総合病院 薬剤部）

O-7 免疫グロブリン療法施行後にB型肝炎ウイルスマーカーの偽陽性が判明した川崎病男児

富塚 稚菜（昭和大学 薬学部 病院薬剤学講座）

O-8 高血圧合併妊娠におけるアムロジピン内服による母児への影響についての検討

中山 絢愛（国立研究開発法人 国立成育医療研究センター 薬剤部）

O-9 医療的ケア児のための薬局のこれから

飯田 祥男（コロポックル薬局）

O-10 緑茶含有アミノ酸L-テアニンの乳汁移行性に関する非臨床的評価

小森 浩二（摂南大学 薬学部 臨床薬理学研究室）

10:40～12:10 シンポジウム4

A会場 (B会場にて中継あり)

座長：山谷 明正 (明治薬科大学 薬学教育研究センター 臨床薬学部門 小児周産期薬学)
田野島 玲大 (横浜市立大学 大学院 データサイエンス研究科 ヘルスデータサイエンス専攻)

本邦の小児医薬品開発～現在の課題と開発促進に向けて～

SY4-1 AMED研究、厚生労働科学研究、小児医薬品開発ネットワーク、小児治験ネットワーク
を活用したアカデミアの取り組み

中村 秀文 (国立研究開発法人 国立成育医療研究センター 研究開発監理部)

SY4-2 日本における小児がん医薬品開発の現状と取り組み

小川 千登世 (国立がん研究センター 中央病院 小児腫瘍科)

SY4-3 製薬企業の立場から～小児医薬品開発への取り組み～

坂口 佐知 (日本イーライリリー株式会社)

SY4-4 小児用医薬品の開発に資するための薬事規制上の取り組み

浦 克彰 (厚生労働省 医薬局 医薬品審査管理課・次世代ワクチン等審査推進室)

12:40～13:30 ランチョンセミナー3

A会場 (B会場にて中継あり)

共催：太陽ファルマ株式会社

座長：小野 博 (国立研究開発法人 国立成育医療研究センター 小児内科系専門診療部)

小児循環器治療薬の課題と対策

三浦 大 (地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立小児総合医療センター)

13:50～14:40 教育講演2

A会場 (B会場にて中継あり)

座長：佐藤 淳子 (独立行政法人 医薬品医療機器総合機構)

OTC医薬品のオーバードーズ：誰が止めるのか?!

石崎 優子 (関西医科大学総合医療センター 小児科)

14:50～16:20 シンポジウム5

A会場 (B会場にて中継あり)

座長：庄司 健介 (国立研究開発法人 国立成育医療研究センター 小児内科系専門診療部 感染症科)
木村 利美 (順天堂大学医学部附属順天堂医院 薬剤部)

PK/PDを武器に細菌と戦う
～小児の抗微生物薬PK/PDの今と未来～

SY5-1 小児科領域における抗微生物薬TDMの実態

中野 孝介 (国立研究開発法人 国立成育医療研究センター 臨床研究センター多施設連携部門)

SY5-2 抗菌薬のPK/PD・TDMの基本とUp to date

木村 利美 (順天堂大学医学部附属順天堂医院 薬剤部)

SY5-3 小児におけるバンコマイシンAUC-guided dosingのポイント

尾田 一貴 (熊本大学病院 薬剤部・感染制御部)

SY5-4 小児抗微生物薬PK/PD研究の現状と未来

庄司 健介 (国立研究開発法人 国立成育医療研究センター 小児内科系専門診療部 感染症科)

16:20～16:40 閉会式

A会場 (B会場にて中継あり)

ポスター発表（一般演題）

11月10日（日） 11:40～12:40

ポスター会場

-
- P-1 漢方薬のペースト法に必要な水分量
吉川 慧（医療創生大学 薬学部）
- P-2 新生児病棟における経管チューブから薬剤を安全に投与するための調査検討
濱町 友里恵（宮城県立こども病院）
- P-3 白河厚生総合病院でのGH治療中の患児の経過について
渡邊 千明（白河厚生総合病院）
- P-4 GCU病棟における服薬指導－病棟看護師との連携－
原田 喜三恵（群馬県立小児医療センター 薬剤部）
- P-5 ボソリチド皮下注導入による薬剤師の関わり
土屋 貴（地方独立行政法人福岡市立病院機構 福岡市立こども病院 薬剤部）
- P-6 日本の医療的ケア児の診療実態：大規模診療報酬請求情報データベースを用いた記述研究
池田 喜一（慶應義塾大学 薬学部 医薬品開発規制化学講座）
- P-7 小児の処方におけるインシデントの傾向と対策の検討
村雲 智久（医療法人徳洲会 中部徳洲会病院）
- P-8 胎児期におけるバルプロ酸曝露による神経系への副作用評価を目的とした分子生物学的検討
小島 勇人（立命館大学 薬学部）
- P-9 小児の鎮静薬について～トリクロリールシロップの使用実績
茶谷 優香（社会医療法人真美会 大阪旭こども病院 薬剤科）
- P-10 多職種の緊密な連携により服薬アドヒアランスが改善した一例
長井 絵里奈（横浜市立大学附属病院）
- P-11 新生児発作において複数の抗てんかん薬を使用した1例
秋山 直子（産業医科大学病院 薬剤部）